

第3章

## 体験学習について



## 1. 参加した・最もよかつた体験学習

ここでは、小・中学校時代にしていた、学校以外が行うキャンプやサマースクールなどの体験教室やイベント、ボランティア活動について聞いた結果をまとめた。(以下、これらの習い事を「体験学習」と表記する。)

今回の調査対象者は大学3年生(21歳)が最も多いので、その学年をモデルパターンとすると、小学校入学が1984年、高校卒業が1996年となる。その間に学校週5日制が導入され【月1回導入が中学校3年生(1992年)、月2回の導入が高校3年生(1995年)】、学校のカリキュラム上で行事や体験学習が拡大されるとともに、地域での体験学習が拡大していった。そのような背景をふまえた上で、体験学習についての結果を見ていく必要があるだろう。

### ◆体験学習経験者は4割(図3-1)

小・中学校時代に体験学習に参加したこと

があるかをたずねたところ、「はい」41.5%、「いいえ」58.3%だった。参加しているのは、女子の方が多い(男子34.0%、女子44.5%)。

### ◆市区町村キャンプ体験者が多い (図3-2、3)

次に、体験学習経験者の中で具体的に参加したことのあるものをすべて挙げてもらったところ、1位「市区町村などが主催するキャンプ(以下、市区町村キャンプ)」46.9%、2位「児童館・公民館などが主催するキャンプ・お泊まり会(以下、児童館・公民館キャンプ)」30.0%、3位「その他」26.2%、4位「ボランティア」20.2%、5位「ホームステイ」9.8%という結果だった。

男女別に見ると、「児童館・公民館キャンプ」「海洋少年団」は男子、「ホームステイ」「ボランティア」は女子の方が参加者は多い。

図3-1 体験学習に参加したことがあるか(全体・性別)

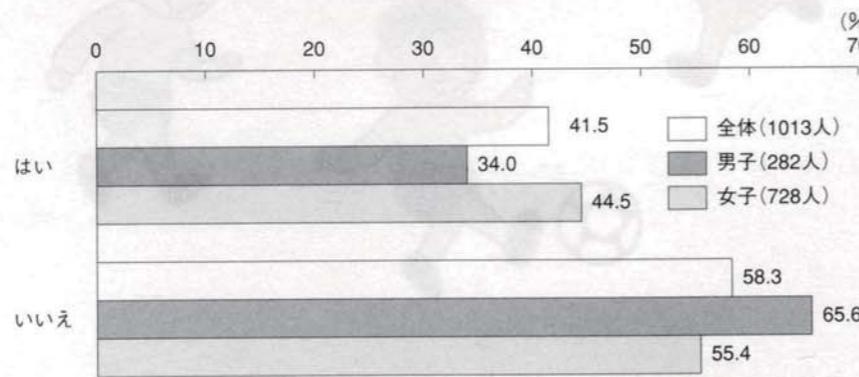


図3-2 小・中学校時代にしていた体験学習(複数回答)

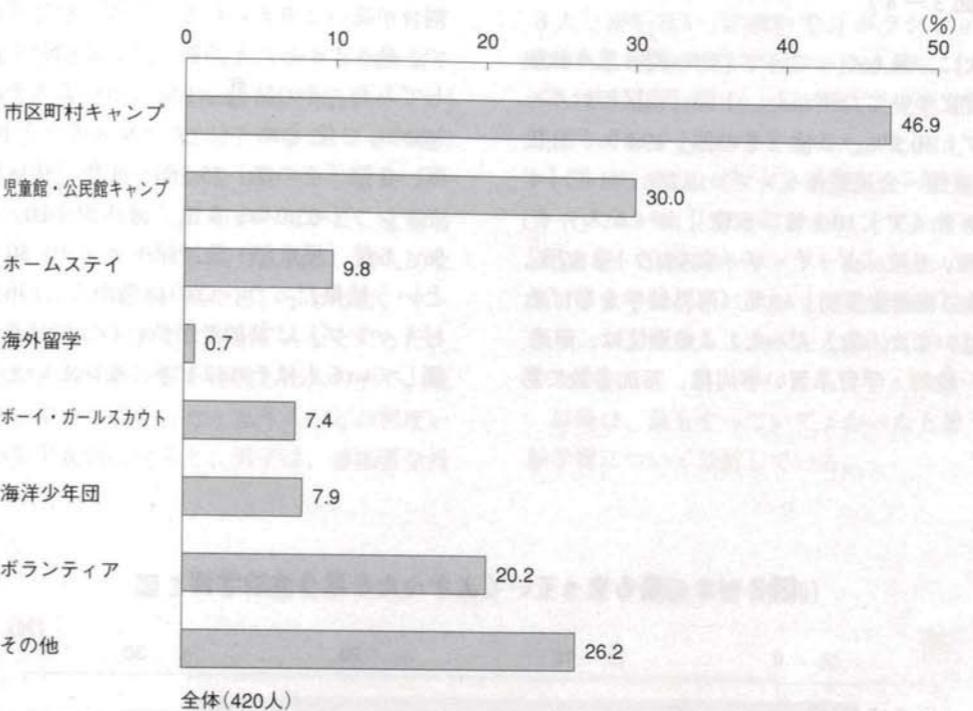
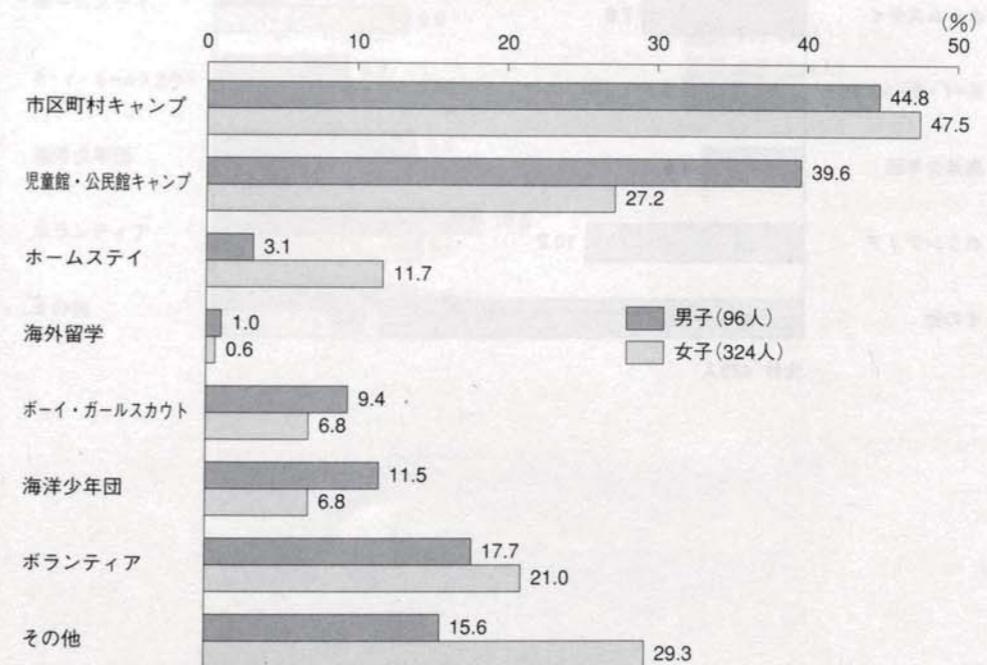


図3-3 小・中学校時代にしていた体験学習(性別)(複数回答)



◆最もやっていてよかったと思う体験学習  
(図3-4)

次に、最もやっていてよかったと思う体験学習についてたずねた。1位「市区町村キャンプ」30.5%、2位「その他」19.8%、3位「児童館・公民館キャンプ」15.2%、4位「ボランティア」10.2%、5位「ホームステイ」7.6%、6位「ボーイ・ガールスカウト」5.7%、7位「海洋少年団」4.8%（海外留学を挙げた人はいなかった）だった。この順位は、前述の一般的・学習系習い事同様、参加者数に影響される（つまり、参加したことのある人が多ければ、最もよかつた習い事として挙がる割合が高いと考えられる）ため、参加者の中で、最もよかつたと回答している割合を比較してみた。その結果、1位「ホームステイ」78.0%、2位「ボーイ・ガールスカウト」77.4%、3位「その他」75.5%、4位「市区町村キャンプ」65.0%、5位「海洋少年団」60.6%、6位「児童館・公民館キャンプ」50.8%という結果だった。この結果から、「市区町村キャンプ」は参加者が多いわりには高く評価している人はそれほど多くないといえる。

◆最もやっていてよかったと思う体験学習  
(性別) (図3-5)

最もやっていてよかったと思う体験学習を男女別に見ると、「児童館・公民館キャンプ」は男子、「その他」は女子が多い。「その他」としては主催者が様々な「キャンプ」や「サマースクール」が主に挙がっていた。主催者は、スポーツクラブ、英会話教室、個人的なグループ、新聞社、県や市、子ども会、マンションの組合、教会、YMCAなどだった。

次に、各体験学習を経験した人の中で、最もやっていてよかったと思う人がどの程度いるかを男女別に見ると、男子は、参加者全員

(100%)が最もよかつた体験学習として挙げている「ホームステイ」（ただし、参加者は3人しかいない）に次いで、「ボランティア」70.6%、「市区町村キャンプ」69.8%、「ボーイ・ガールスカウト」66.7%、「児童館・公民館キャンプ」60.5%となった。女子は、「ボーイ・ガールスカウト」81.8%、「ホームステイ」76.3%、「市区町村キャンプ」63.6%、「児童館・公民館キャンプ」46.6%という結果で、女子は男子に比べて「児童館・公民館キャンプ」を最もよかつたと感じている人が少ない。

以降は、最もやっていてよかったと思う体験学習について分析している。

図3-4 最もやっていてよかったと思う体験学習

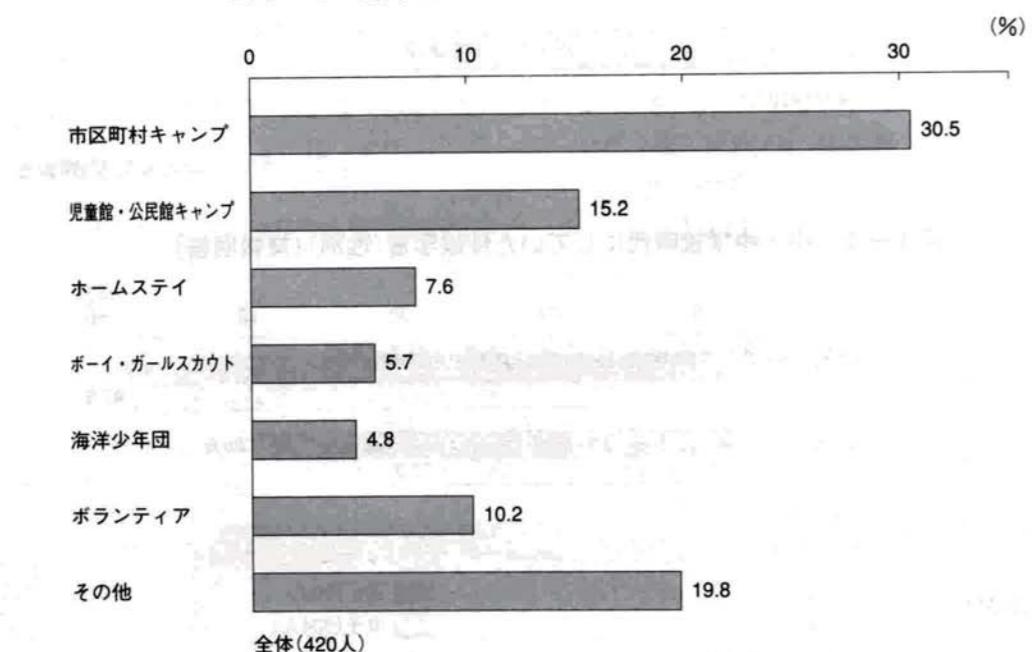


図3-5 最もやっていてよかったと思う体験学習(性別)

